



月頃に意向調査し翌年度に予算化しているが、今年度早期実施希望がある場合には、補正予算対応も含め検討する。

**問** 避難所としての施設や医療機関の耐震状況について。

**答** 保育園については、廃園、改築予定の2園以外は平成21年度までに完了。学校施設については22年度までに完了。5つの病院については、耐震化又は耐震工事中である。

**問** 耐震工事とリフォーム補助の併用は可能か。又リフォーム補助の目的は何か。

**答** 補助の目的は経済対策であり、市内に本社のある事業者、もしくは市内に住所のある個人事業者が施行する工事で、工事箇所が重ならない限り耐震改修、リフォームそれぞれ補助の併用は可能である。

**問** 防災行政無線、庁舎の非常電源は大丈夫か、難聴地域への対応はどうするのか。

**答** 庁舎、保健福祉センターとも発電機があり、停電の場合自動的に始動する。防災行政無線も心配ない。難聴地域へは戸別受信機対応する。

**◆木育について**

**問** 今年は国際森林年であるが、木育の取り組みはどうか  
**答** 宗賀小は枯れたメタセコイヤで積み木を作ったり、生

命の進化や環境の学習。広丘小はトチノ木プロジェクト。木曾檜川小は漆、漆器についての学習。両小野中は林業体験学習など学校ごとに実施。

**◆医療費支援について**

**問** 中学卒業までの医療費支援拡大は出来ないか。

**答** 各市町村で差がある。県や他市の状況を見て検討する。

**問** 高齢者肺炎球菌予防接種に対する助成の考えはあるか。

**答** 肺炎球菌ワクチンの接種は、高齢者の健康を守ると同時に、医療費削減にもつながるものと認識している。地元医師会とも相談しながら、引き続き検討を重ねていく。

**◆災害に強い国道を**

**問** 桜沢バイパスの見直しは、平成19年度に国の直轄事業として採択されている総延長2.1kmについて詳細設計、用地測量が実施され、平成22年度58%の用地買収が完了。



非常用発電機（保健福祉センター）

# 和の会

質問者 青柳 充茂  
中原輝明

持ち時間113分

## 市政に信頼を取り戻せ

◆小口市政は独裁的？

**問** 小口市政は9年目だが「結局は借金と補助金に頼った箱物建設で維持費がかさみ、もっと必要な市民の福祉にお金が回らなくなった」という市民の声がある。また、市長は意中の人物を「専門委員」という職務で公募もせず雇用しようとしていると聞く。

そのような市長の考えや行動が「職員のやる気と希望を失わせ、役所改革は進むどころか後退した」とか「まるで独裁者だ」という評判になって聞こえてくるがどうか。

**答** そういうことは一切ない。  
**問** 市長が公の場で一市民を名指して誹謗中傷したと言われる事例を聞いた。市が主催したワインを愉しむ会の市長挨拶の冒頭、いきなり「I」というとんでもないやつがへ

んな文書を配っている」と言いたして参加者は唖然としたと聞く。また、同氏が勤務する会社に市民交流センター長、課長の2名の職員を派遣し、人事の責任者に会い、その社員を処分するよう暗に働きかけたとも聞いた。これらは、先般の市会議員選挙に立候補した同氏を、「あいつだけは落したい」と、市長が葬儀や竣工式の参列者にふれ回っていたという伝聞と関係があるのではないか。

**答** えんばーくの再開発事業で、市が汚職をしたような文書を流されたので、会社に事実関係の問い合わせを行った。市民の誤解を解くため、説明責任を果たしたものである。

**◆不正や無駄使いの検証を**

**問** 市長がそこまでした本当の理由は実は文書の内容にあったのではないか。市民交流センターの再開発ビル建設工事代金が鋼材の大幅な値下がりを受け、組合が建設業者から返金してもらうべき金額が5千万円余であったものを、2千万円にまでやっただけという行為があったことを指摘されたことが問題で困り、そんな行動に出たのではないか。そのような業者との契約はあったのか。